

2021年6月17日  
日鉄物産システム建築株式会社  
代表取締役社長 生井敏夫

## 20年度業績と21年度計画について

20年度の当社の受注高は220億円(対前年度比：109.9%)、売上高は205億円(対前年度比：97.0%)となった。地区別では中国地区が過去最高の受注高となった。受注棟数は184棟、受注床面積37万㎡、一棟当りの平均床面積2026㎡であった。当社の販売ネットワークである「日鉄物産システム建築会」の会員数は、1523社となった。

2019年度より販売を開始した「SUMISYS NEO」の受注は、トータルで63781㎡(21棟)と好調に推移している。

さらに、2021年4月より、対象を両方向ラーメン構造の2階建てまで拡大した「SUMISYS NEO」の販売を開始。基礎・柱脚のバリエーションも増え、より幅広いニーズに対応可能となっている。

顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている「地域に密着した営業体制」、「会員と連携したビジネススタイル」の継続と、「SUMISYS NEO」の拡販により、2021年度の受注高は260億円、売上高は250億円を見込む。



物件名／「有限会社元気ジャパン 第二倉庫新設」 建設地／山口県山口市  
用途／倉庫 商品名／ティオ 階数／平屋 施工床面積／3,622.8㎡  
建築主／有限会社元気ジャパン様 設計者／株式会社八洲設計様 施工者／澤田建設株式会社様